

平成28年11月24日

平成28年度上半期業績 説明用資料

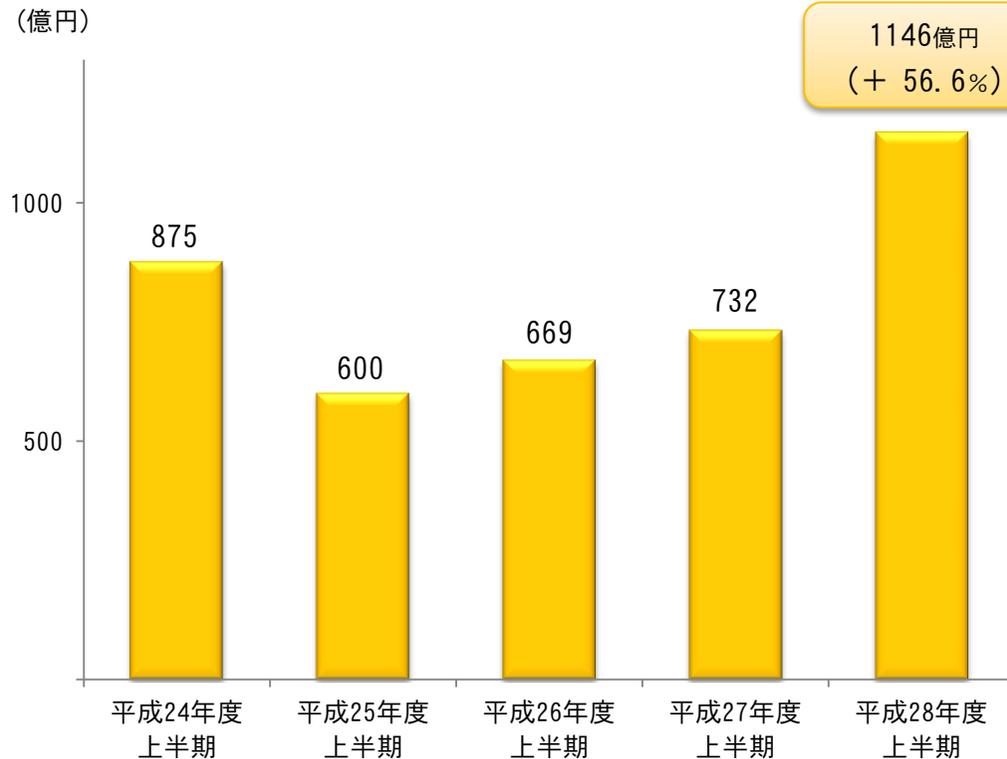
あなたの未来を強くする



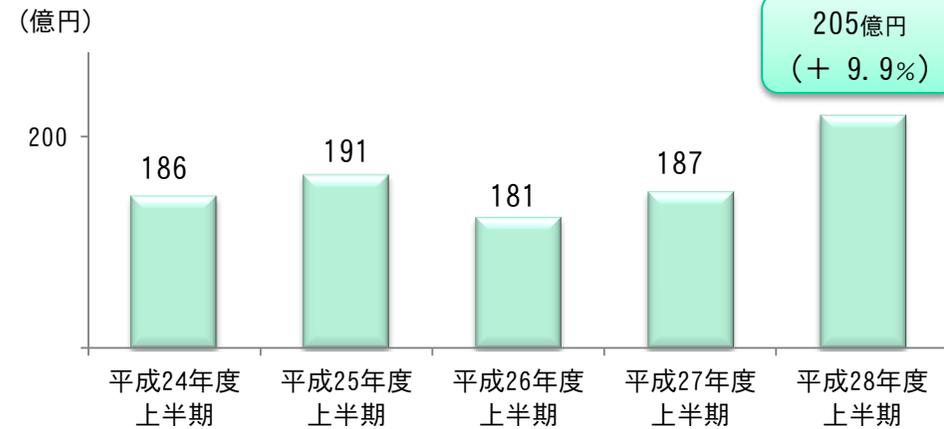
業績の状況

- 新契約年換算保険料は、平準払いの個人年金保険の販売増加等より、前年同期比56.6%の増加。昨年9月に発売した就労不能保障「1UP」の効果もあり、第三分野についても前年同期比9.9%の増加。
- 営業職員チャネルの業績を契約者の年代別に見ると、若年層の新契約件数が前年同期比13.6%増加し、新契約の全体に占める割合も上昇。

新契約（新契約+転換純増）年換算保険料



<第三分野の新契約年換算保険料の状況>



若年層の新契約の状況(営業職員チャネル)

[若年層(30歳未満)に対する新契約件数]

平成28年度上半期 13.3万件 (前年同期比 +13.6%増加)

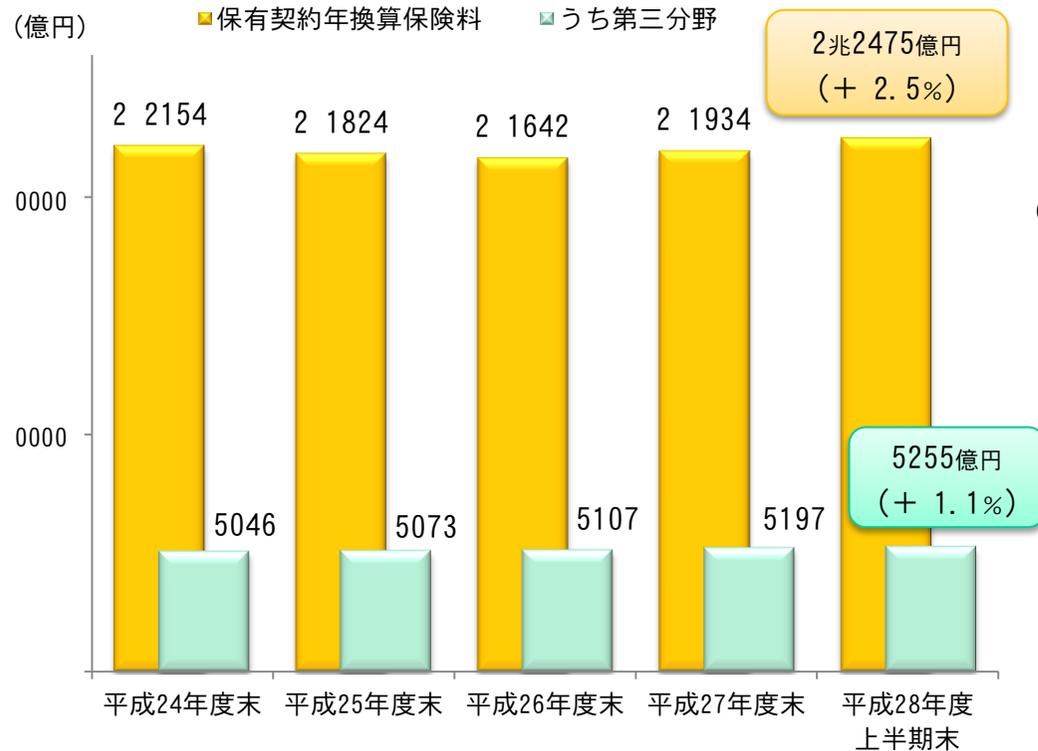
[新契約件数に占める若年層(30歳未満)割合]

平成28年度上半期 31.5% (平成27年度上半期 25.8%)

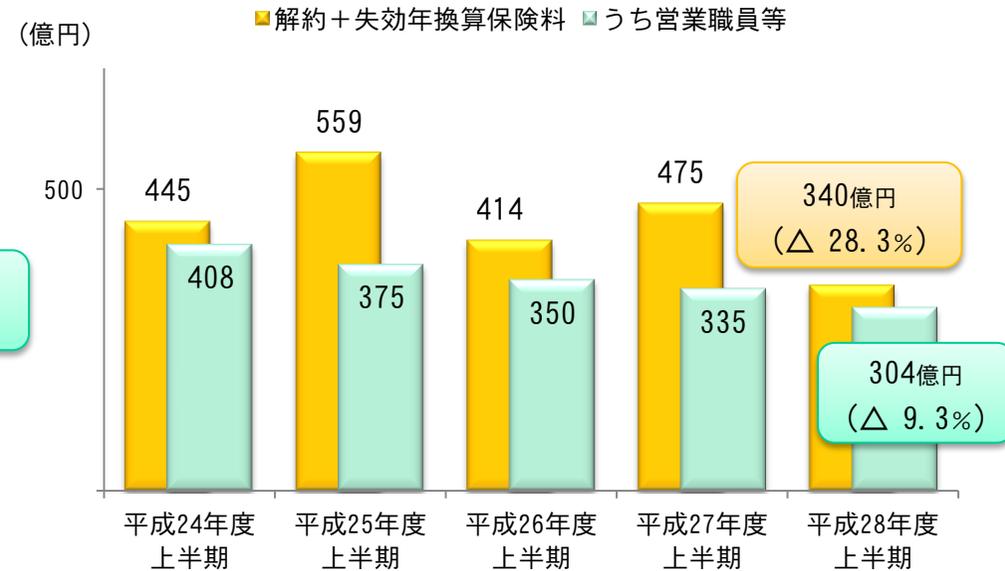
業績の状況

■ 保有契約年換算保険料は、平準払いの個人年金保険の販売増加等により、前年度末比2.5%の増加。

保有契約年換算保険料



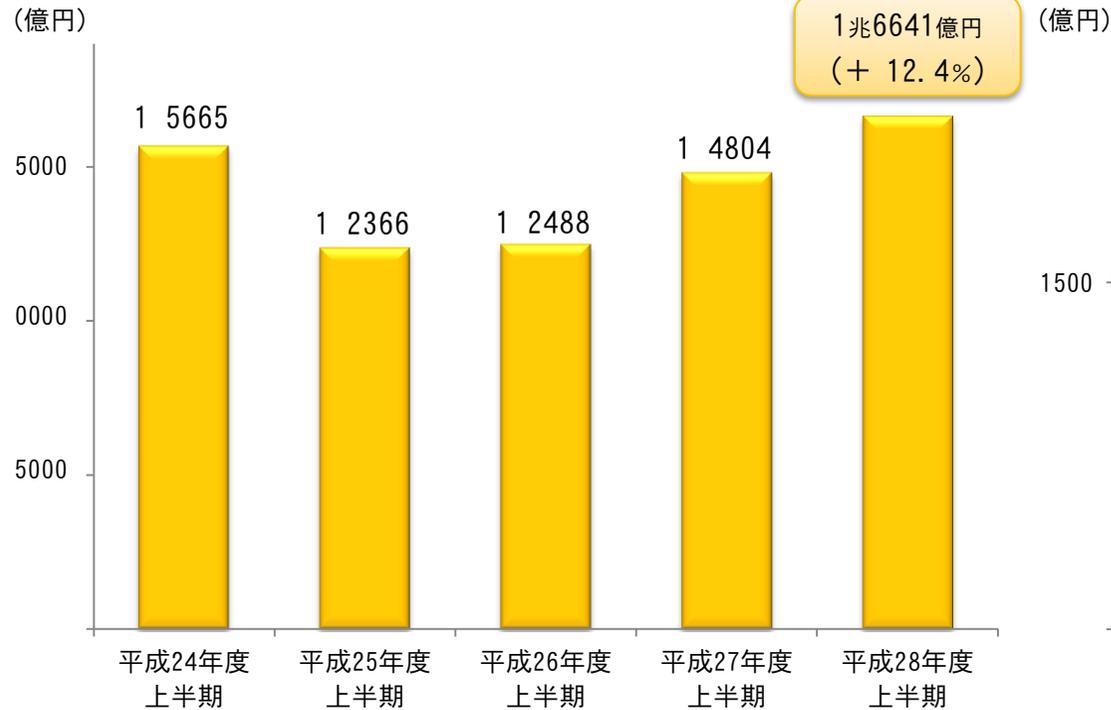
<解約+失効年換算保険料>



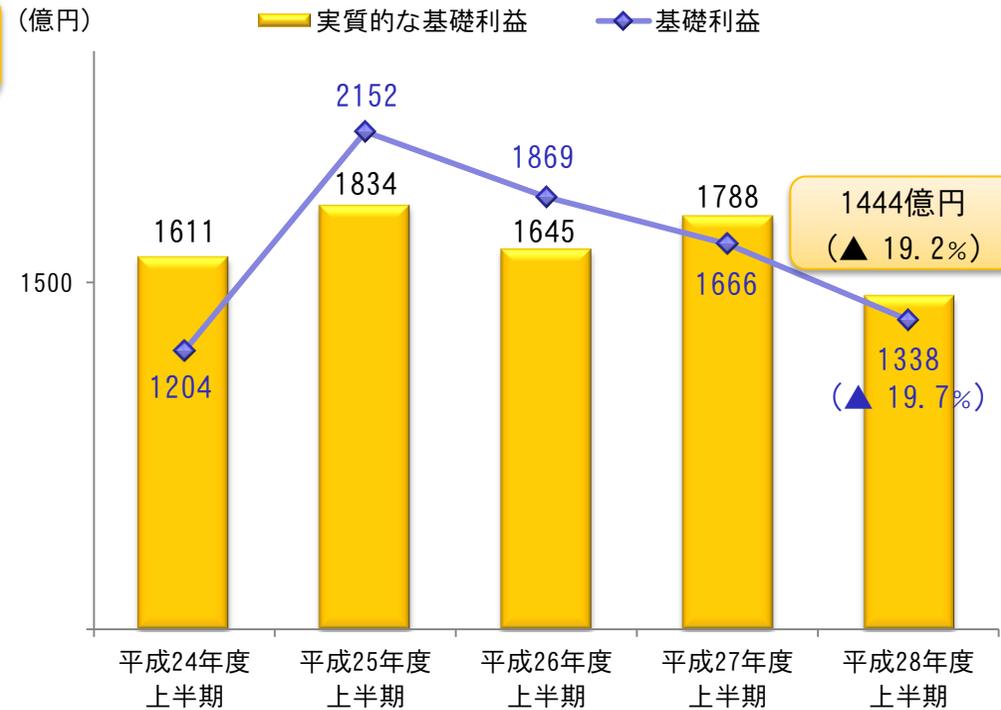
収支の状況

- 保険料等収入は、平準払いの個人年金保険の販売増加等より、前年同期比12.4%増加。
- 基礎利益は、新契約に伴う初期費用等の増加や円高による外国債券利息の減少などにより、前年同期比19.7%減少。
- 変額年金保険に係る標準責任準備金等の影響を除いた実質的な基礎利益は、前年同期比19.2%の減少。

保険料等収入



基礎利益



変額年金保険の最低保証リスクに係る標準責任準備金等の繰入(▲)・戻入(+)

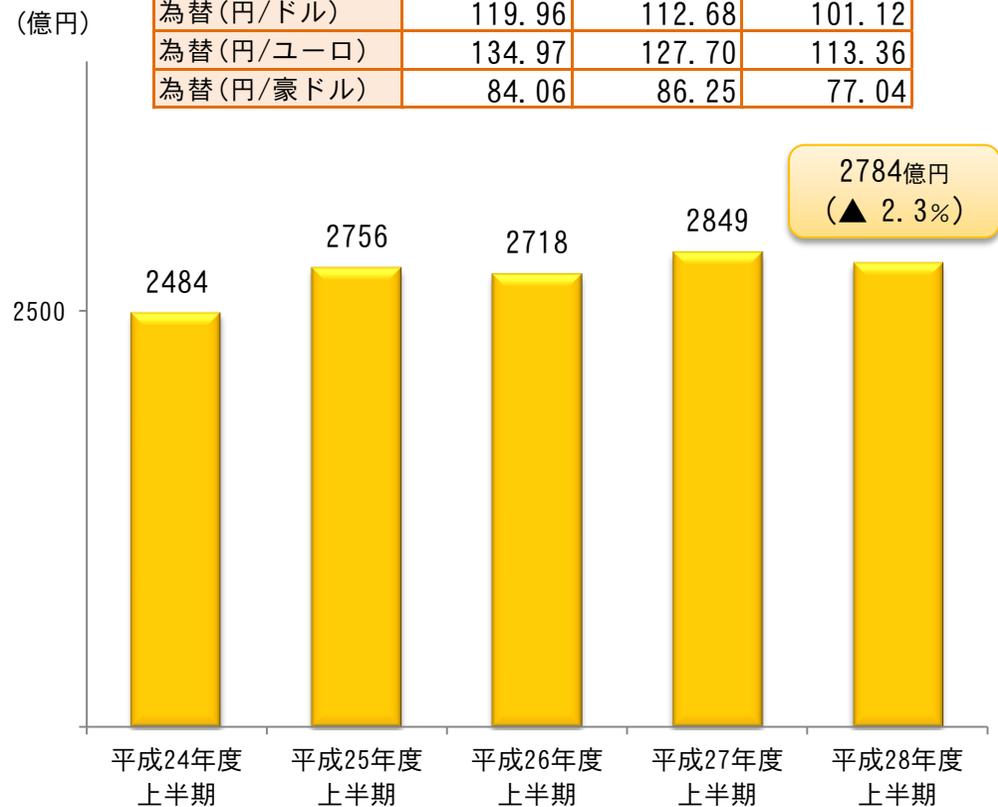
▲ 406億円	+ 317億円	+ 223億円	▲ 121億円	▲ 106億円
---------	---------	---------	---------	---------

収支の状況

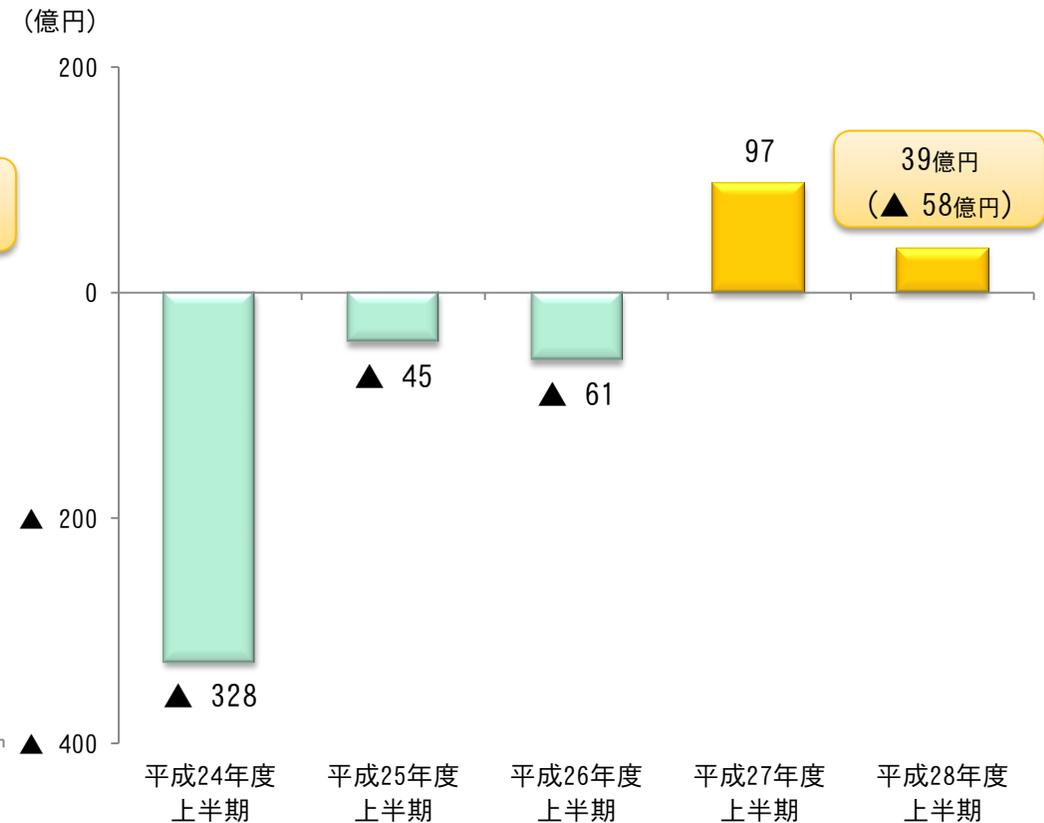
- 利息及び配当金等収入は、円高による外国債券の利息収入の減少等により、前年同期比2.3%の減少。
- 順ざや、前年同期比58億円減少し、39億円。

利息及び配当金等収入

	平成27年度 9月末	平成27年度末	平成28年度 9月末
10年国債金利(%)	0.345	-0.050	-0.085
為替(円/ドル)	119.96	112.68	101.12
為替(円/ユーロ)	134.97	127.70	113.36
為替(円/豪ドル)	84.06	86.25	77.04



順ざや・逆ざやの状況



健全性の状況

- 内部留保は、前年度末比1464億円を積み増し。
- ソルベンシー・マージン比率は、その他有価証券評価差額金が減少したものの、内部留保の積み増しや劣後特約付社債の調達による財務基盤の強化などにより、前年度末から増加し、引き続き十分な水準を維持。

内部留保

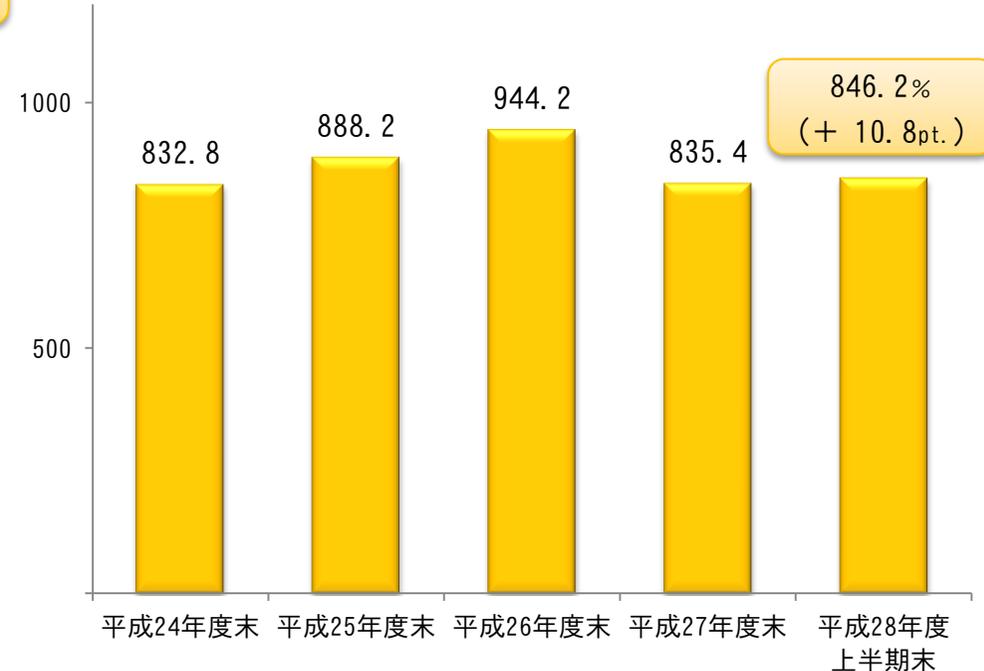
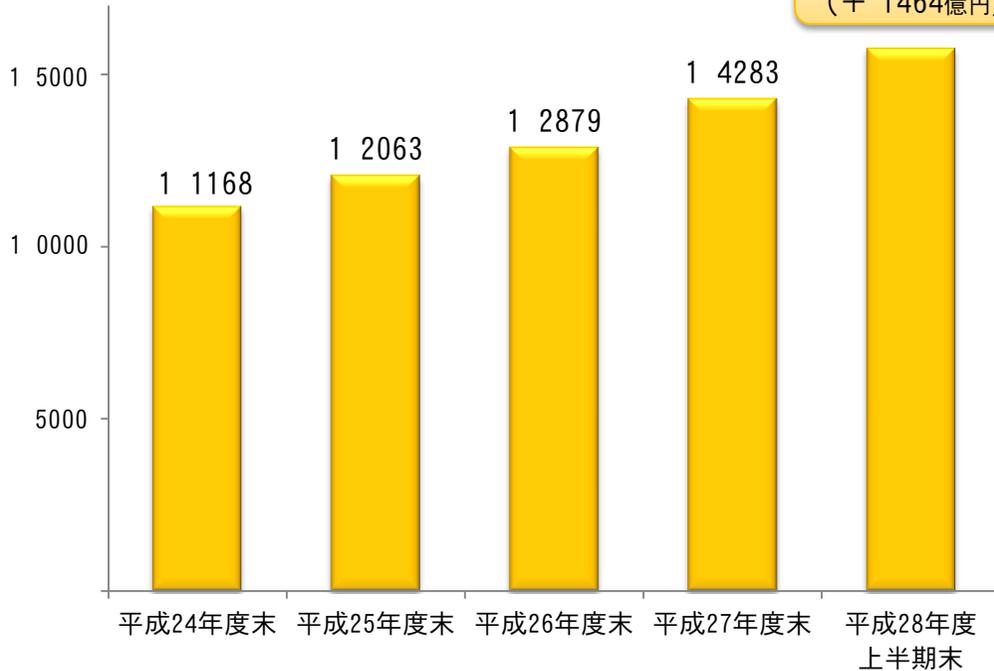
ソルベンシー・マージン比率

(億円)

(%)

1兆5747億円
(+ 1464億円)

846.2%
(+ 10.8pt.)



※内部留保は危険準備金、価格変動準備金、価格変動積立金、基金償却準備金(基金償却積立金を含む)です。

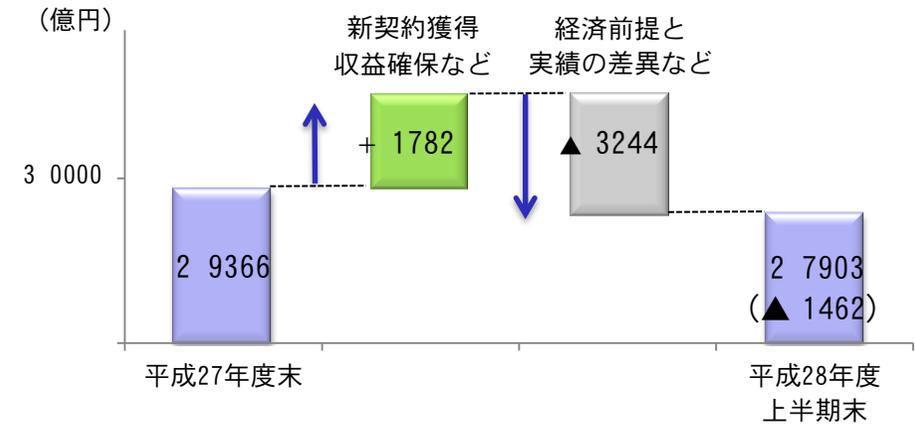
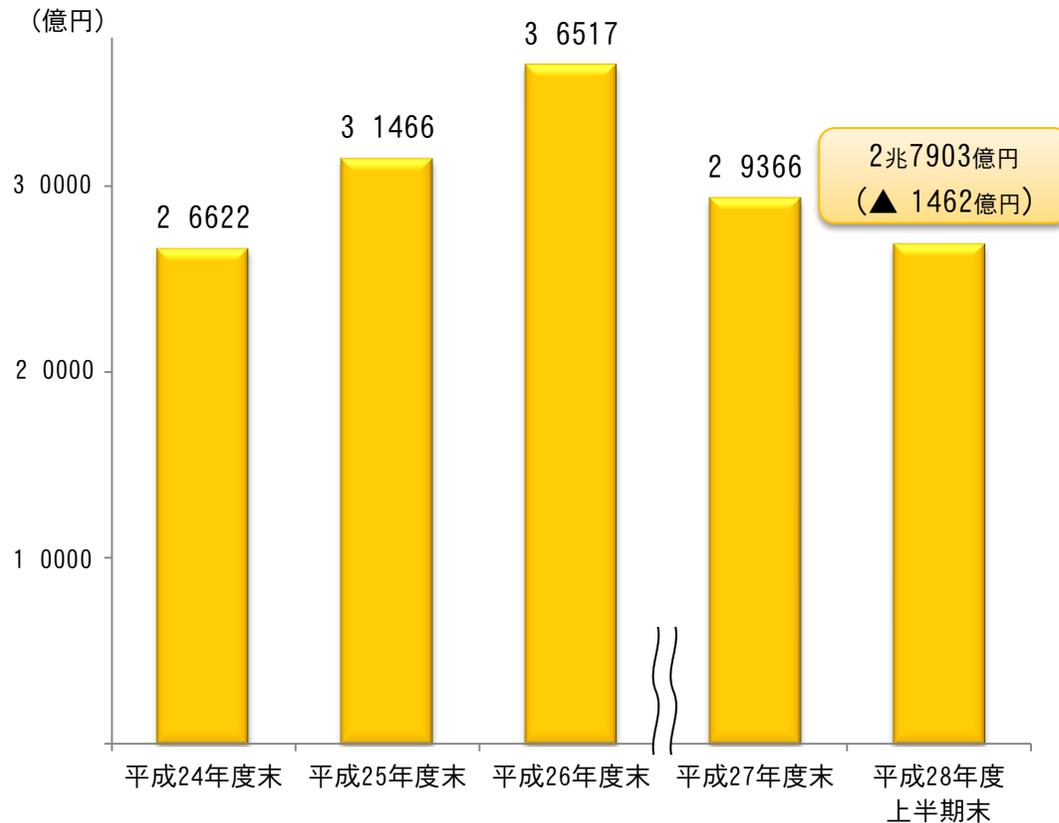
ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(E E V)

- 金利低下を反映し、住友生命グループのE E Vは、前年度末比1462億円の減少。

ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー

<E E Vの増減要因について>

- ・EEVIは、長期の保障を行う生命保険会社の価値を将来収益も含めて現時点で認識するものです。
- ・新契約獲得、解約失効抑制に加え、コスト削減、リスク削減状況なども含めた保険会社の実態を反映する指標であり、現行の財務会計を補完する指標のひとつとして、有用な役割を担うものと認識しています。



【リスク・フリー・レートの補外方法の変更について】

- ・平成28年度上半期末より、日本円のリスク・フリー・レートにおける超長期金利の補外について、終局金利を用いて補外する方法へと見直しを行なっております。
- ・終局金利とは、超長期的に収束すると考えられる金利水準です。
- ・終局金利を用いた補外方法への変更は、補外部分の金利変動を抑制し、E E Vが会社の実態をより適切に表すことを目的としています。

※平成27年度末EEVIは終局金利を用いて再評価を行った数値としています。

住友生命グループの実績

<新契約年換算保険料(合算値)>

	平成27年度上半期	平成28年度上半期
住友生命	732	1146億円
メディケア生命	20	28億円
シメトラ	-	257億円
合算値	752	1432億円 (+ 90.3%)

<保有契約年換算保険料(合算値)>

	平成27年度末	平成28年度上半期末
住友生命	2 1934	2兆2475億円
メディケア生命	217	241億円
シメトラ	3684	3290億円
合算値	2 5835	2兆6006億円 (+ 0.7%)

<連結保険料等収入>

	平成27年度上半期	平成28年度上半期
住友生命	1 4804	1兆6641億円
メディケア生命	105	122億円
シメトラ	-	473億円
連結	1 4908	1兆7236億円 (+ 15.6%)

<グループ基礎利益>

	平成27年度上半期	平成28年度上半期
住友生命	1666	1338億円
メディケア生命	▲ 28	▲ 43億円
シメトラ他	66	91億円
グループ基礎利益	1688	1368億円 (▲ 18.9%)

※シメトラの実績は、完全子会社化後の実績を反映。為替レートについて、平成27年度末は1ドル=120.87円、平成28年度上半期末は1ドル=102.91円にて換算

※グループ基礎利益は、住友生命とメディケア生命の基礎利益、シメトラ、バオベトHD、BNIライフ、PICC生命の税引前利益(住友生命の持分相当額)を合算し、一部の内部取引等を調整して算出

<ご参考>シメトラの保険料収入

保険料収入	平成28年度上半期(1月~6月)		
	百万米ドル	億円	前年同期比
法定会計(SAP)ベース	2723	2803	+ 25.9%

※前年同期比は米ドルベース

【米国における保険料収入に関する会計基準の違いについて】

- ・財務会計(GAAP)では、年金保険等の投資契約に係る払込額は、保険料ではなく預り金として計上されます。
- ・一方、法定会計(SAP)では、日本の会計基準と同様に、年金保険等の投資契約の保険料がそのまま保険料として計上されます。

成長戦略の状況



環境変化と顧客ニーズの多様化に対応しマーケットを開拓

- ・ブランド戦略のもと、営業職員のレベルアップに注力。入社後3ヵ月を教育重点期間と位置付け、教育の向上を目的に、当社独自の「四半期採用・育成運営」を行い、営業職員の在籍率、保険契約の継続率、新人層一人当たりの業績等が向上。
- ・また、営業用携帯端末「SumiseiLief」搭載のコンサルティング&サービス機能を拡充し、分かりやすく納得感のあるコンサルティングや迅速なサービスを提供。
- ・この高度なコンサルティングやサービスを土台として、就労不能保障「1UP」を昨年9月に発売。発売以降、主力商品の販売件数が累計40万件を突破し、特に若年層マーケットの開拓に貢献。

- ・本年7月からは、従来の保険の枠を超え、お客さまの健康状態の向上と健康長寿社会を実現し、更なるマーケットを切り拓く「健康増進型保険」の開発プロジェクトに取り組む。

「生命保険」から「生活保険」への進化

平成27年9月

生活保険で、じぶんを救え。

1UP

未来デザイン ワンアップ

死亡時の遺族保障を目的とする「生命保険」から、**病気やケガで働けなくなったときの生活を守る「生活保険」という新発想**

「生活保険」から「健康増進型保険」への進化

Discovery Vitality

健康増進活動の結果にもとづいて保険料が割引される、**健康になればなるほど、メリットを享受できる保険**

- ・平成29年4月を目処に、当社の営業職員を通じて、エヌエヌ生命の法人向け事業保険商品を販売開始予定。法人向け商品ラインアップを拡充し、中小法人マーケットを深耕。

NN
エヌエヌ生命

※スミセイライフデザイナーとは、約3万名の当社の営業職員

成長戦略の状況



平準払い保険で顧客層拡大に注力

- ・金融機関等代理店では、若年層や資産形成層など、顧客層の拡大に向けて、平準払い商品の販売にも注力し、平成28年度上半期の販売件数は過去最高（15万件）。平準払商品の取扱い金融機関は、平成28年9月末で199機関。
- ・メディケア生命では、9月に保有契約件数が40万件突破。いずみライフデザイナーズが運営する来店型保険ショップ「ほけん百花」は、平成28年9月末時点で73店舗。

環境変化と顧客ニーズの多様化に対応しマーケットを開拓

先進国市場での取組み

- ・平成28年2月に完全子会社化したシメトラは、個人年金、企業保険、個人保険の3つのビジネスラインで構成されるバランスの取れた事業ポートフォリオを有しており、当社の信用力をてこに更なる成長を目指す。同社との課題認識や先進事例等の共有化により、将来シナジーの発揮に繋げることを目的として、資産運用、商品開発等の専門分野別の会議を実施。

新興国市場での取組み

- ・PICC生命（中国）、バオベト・ホールディングス（ベトナム）、BNIライフ（インドネシア）の3社に出資し、商品開発、販売チャネル、IT、リスク管理等の技術援助に取り組む。平成28年1～6月の業績において、PICC生命の収入保険料は業界第4位、バオベト・ホールディングスの生命保険の収入保険料は首位（損保については業界第2位）、BNIライフにおいても増収・増益基調で推移。

※スミセイライフデザイナーとは、約3万名の当社の営業職員

資産運用の高度化に向けた取組み

「収益向上」と「リスクコントロールの強化」に向けた方策

- ・平成28年4月よりポートフォリオを2つに区分し、それぞれの運用目的に応じた収益向上とリスクコントロールの強化を図り、資産運用の高度化を推進。平成28年10月には、ポートフォリオを区分した効果を一層発揮するため、それぞれのポートフォリオの運用を担う組織（ALM証券運用部、バランスファンド運用部）を新設（従来の資産種類毎の組織は廃止）。
- ・外部委託も活用しながら投資対象の多様化や運用ノウハウを取り込むとともに、外部機関へのトレーニー派遣や中途採用などを通じて専門人材を育成し、より強固な運用体制を構築。

2つの
ポートフォリオ
【目的】

ALM運用ポートフォリオ

(円金利資産中心)

【保険金等の確実な支払いに資すること】

主な
対象資産

日本国債、社債や貸付金等のクレジット資産

各資産
における
収益向上
に向けた
取組み

海外事業債
の投資拡大

- ・業種分散等を図りながら海外事業債への投資を拡大
- ・シメトラ社との連携、外部運用機関への人材派遣を通じたノウハウ吸収等による体制強化

為替ヘッジ付外債
の投資拡大

- ・投資対象国を拡大しつつ、為替ヘッジ付外債への投資残高を積上げ

クレジット資産
の投資拡大

- ・銀行・事業会社向け劣後性商品への投資

成長分野への投融資等

- ・医療・介護、環境・エネルギー、インフラ、企業の海外進出といった成長分野での資金ニーズに対応した投融資を実行

バランス運用ポートフォリオ

(流動性の高い有価証券中心)

【企業価値（EV）の持続的向上に資すること】

株式、オープン外国債券、為替ヘッジ付外国債券

市場見通しに
応じた
機動的な運用

- ・国内外のマクロ経済や金融政策の動向等を踏まえた市場見通しに基づく、機動的な資産配分の実施

株式ポートフォリオ
の収益力向上

- ・投資先企業の企業価値向上を目指し、質の高い対話によるスチュワードシップ活動を推進

2016年9月期 財務・業績の概況

①-(1) 契約の状況等(住友生命グループ)

		2016年9月期		16年3月期	15年9月期	
		16/3期比	15/9期比			
新契約年換算保険料	(百万円)	143,220	—	90.3	173,595	75,241
うちメディケア生命	(百万円)	2,818	—	38.7	4,393	2,032
うちシトラ	(百万円)	25,754	—	—	—	—
保有契約年換算保険料	(百万円)	2,600,653	0.7	19.0	2,583,563	2,186,327
うちメディケア生命	(百万円)	24,107	11.1	22.3	21,707	19,719
うちシトラ	(百万円)	329,014	▲ 10.7	—	368,408	—
連結保険料等収入	(百万円)	1,723,652	—	15.6	3,044,897	1,490,829
うちメディケア生命	(百万円)	12,250	—	16.5	23,178	10,517
うちシトラ	(百万円)	47,347	—	—	—	—

※連結保険料等収入は連結損益計算書ベース(シトラについては、完全子会社化後の実績を反映)

※3月期比、9月期比は増減率

※シトラの決算日は12月31日(第2四半期末日は6月30日)

※年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等

(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額等)

※新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料は、住友生命、メディケア生命、シトラとの合算値(住友生命、メディケア生命は、個人保険+個人年金保険)

※シトラの新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料は、完全子会社化後の実績を合算(内訳は次の通り)

新契約年換算保険料	2016年9月期	257億円(うち団体保険 28億円)	250百万米ドル(うち団体保険 27百万米ドル)
保有契約年換算保険料	2016年3月期末	3684億円(うち団体保険915億円)	3047百万米ドル(うち団体保険757百万米ドル)
	2016年9月期末	3290億円(うち団体保険770億円)	3197百万米ドル(うち団体保険749百万米ドル)

①-(2) 契約の状況等(住友生命)

		2016年9月期		16年3月期	15年9月期	
		16/3期比	15/9期比			
新契約年換算保険料	(百万円)	114,647	—	56.6	169,202	73,209
うち第三分野	(百万円)	20,565	—	9.9	40,019	18,717
保有契約年換算保険料	(百万円)	2,247,531	2.5	3.7	2,193,448	2,166,608
うち第三分野	(百万円)	525,501	1.1	2.2	519,792	513,977
保険料等収入	(百万円)	1,664,183	—	12.4	3,022,000	1,480,439
うち個人保険分野	(百万円)	1,496,668	—	37.8	2,422,412	1,086,292
うち団体保険分野	(百万円)	155,915	—	▲ 59.2	574,906	382,047
保有契約高	(百万円)	95,428,158	▲ 2.6	▲ 5.6	98,015,843	101,047,956
解約・失効年換算保険料	(百万円)	34,040	—	▲ 28.3	86,478	47,500
解約・失効率	(%)	1.55	—	—	4.00	2.19

※保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険

※3月期比、9月期比は増減率

※年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等

(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額等)

※保険料等収入は損益計算書ベース

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金保険、団体保険分野は団体保険+団体年金保険の合計保険料

※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出

※解約・失効率は年換算保険料建ベース

②-(1)資産の状況等(住友生命グループ)

		2016年9月末		16年3月末	15年9月末	
			16/3末比			15/9末比
連結総資産	(百万円)	32,338,871	1.7	17.9	31,797,049	27,425,706
連結実質純資産額	(億円)	62,346	0.8	22.1	61,845	51,070
連結ソルベンシー・マージン比率	(%)	864.9	66.3	▲ 23.6	798.6	888.5

※3月末比、9月末比は増減率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

②-(2)資産の状況等(住友生命)

		2016年9月末		16年3月末	15年9月末	
			16/3末比			15/9末比
総資産	(百万円)	28,614,327	3.5	4.8	27,641,583	27,315,761
実質純資産額	(億円)	61,257	▲ 0.2	20.4	61,374	50,872
実質純資産額／一般勘定資産	(%)	22.5	—	—	23.6	20.1
ソルベンシー・マージン比率	(%)	846.2	10.8	▲ 20.9	835.4	867.1

※3月末比、9月末比は増減率(ソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)

③基礎利益・順ざや/逆ざや

		2016年9月期		16年3月期	15年9月期	
			16/3期比			15/9期比
グループ基礎利益	(百万円)	136,883 (147,522)	—	▲ 18.9 (▲ 18.5)	309,087 (325,318)	168,831 (180,987)
基礎利益(住友生命)	(百万円)	133,860 (144,499)	—	▲ 19.7 (▲ 19.2)	308,248 (324,479)	166,669 (178,825)

※グループ基礎利益は、住友生命とメディケア生命の基礎利益、シメラ、パオベト・ホールディングス、BNIライフ、PICC生命の税引前利益(住友生命の持分相当額)を合算し、一部の内部取引調整等を行い算出しています(シメラについては、完全子会社化後の実績を反映)。 ※9月期比は増減率
※シメラの税引前利益からは、キャピタル損益、買収会計に伴う保有契約価値の償却費用等の影響を除いています。

()は住友生命の変額年金保険に係る標準責任準備金等の影響を除いたベース
※変額年金保険に係る標準責任準備金繰入額等は次のとおりです。
(15年9月期繰入額等 121億円、16年3月期繰入額等 162億円、16年9月期繰入額等 106億円)

		2017年3月期の予想	2016年3月期の実額
順ざや額もしくは逆ざや額	(億円)	順ざや	227

※住友生命の実績を掲載

④-(1)利差・死差・費差(住友生命グループ)

		2016年9月期		16年3月期	15年9月期	
			16/3期比			15/9期比
保険関係差益	(億円)	1,255	—	▲ 284	2,787	1,540
うち死差益	(億円)	1,602	—	▲ 52	3,164	1,654
うち費差益	(億円)	84	—	▲ 149	316	233
順ざや額	(億円)	40	—	▲ 58	230	98

※住友生命とメディケア生命の合算値を掲載

④-(2)利差・死差・費差(住友生命)

		2016年9月期		16年3月期	15年9月期	
			16/3期比			15/9期比
保険関係差益	(億円)	1,299	—	▲ 270	2,855	1,569
うち死差益	(億円)	1,588	—	▲ 56	3,144	1,644
うち費差益	(億円)	130	—	▲ 132	384	262
順ざや額	(億円)	39	—	▲ 58	227	97

⑤準備金

		2016年9月末		16年3月末	15年9月末	
			16/3末比			15/9末比
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	24,222,882	613,313	984,178	23,609,569	23,238,704
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	22,854,989	919,060	1,590,119	21,935,928	21,264,870
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	1,367,893	▲ 305,746	▲ 605,941	1,673,640	1,973,834
価格変動準備金	(百万円)	459,347	107,200	145,000	352,147	314,347
危険準備金	(百万円)	348,100	25,500	5,200	322,600	342,900
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	108,427	—	300	108,427	108,127
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	141,195	39,697	34,402	101,498	106,792
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	50,095	▲ 16,297	▲ 33,802	66,392	83,898
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	48,382	2,100	4,300	46,282	44,082
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	165,000	—	—	165,000	165,000

※16年3月末の危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載。

※3末比、9末比は増減実額

※住友生命の実績を掲載

⑥含み損益

		2016年9月末		16年3月末	15年9月末	
			16/3末比			15/9末比
有価証券	(百万円)	3,796,134	▲ 68,567	924,702	3,864,702	2,871,432
うち国内株式	(百万円)	557,204	▲ 12,499	▲ 103,101	569,703	660,306
うち国内債券	(百万円)	2,603,990	▲ 10,449	1,021,010	2,614,440	1,582,980
うち外国証券	(百万円)	614,450	▲ 43,072	4,680	657,522	609,770
不動産	(百万円)	42,999	7,663	34,827	35,336	8,171

※不動産は再評価後の土地・借地権の含み損益を記載

※3末比、9末比は増減実額

※住友生命の実績を掲載

⑦運用実績と計画

		上期実績	下期計画
国内株式等	(百万円)	11,104	横ばい
国内債券	(百万円)	143,041	減少
外国株式等	(百万円)	▲ 4,227	横ばい
外国債券	(百万円)	1,096,683	増加
不動産	(百万円)	▲ 2,463	微減

※国内株式等、外国株式等には投資信託等を含む

※住友生命の実績を掲載

⑧資産の損益がゼロになる水準

		2016年9月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	9,700円台
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	770ポイント台
国内債券	(%)	1.4%
外国証券	(円)	102円台

※株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

※日経平均は100円刻み、TOPIXは10ポイント刻みで掲載

※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第1位まで算出

※外国証券はドル円換算にて算出し、1円刻みで掲載

※住友生命の実績を掲載

⑨2017年3月期の業績見通し

		2017年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	増加
基礎利益	(百万円)	減少
保有契約高	(百万円)	減少
保有契約年換算保険料	(百万円)	増加

※住友生命の見通しを掲載

⑩銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出(総額)

		2016年9月末
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	114,000
劣後ローン等	(百万円)	-

※住友生命の実績を掲載

ii 銀行への拠出(総額)

		2016年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	149,754
劣後ローン等	(百万円)	786,643

※基金拠出者以外の金額も含む

※銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券

※住友生命の実績を掲載

⑪職員数

		2016年9月末			16年3月末	15年9月末
			16/3末比	15/9末比		
営業職員	(人)	31,845	+1.9	+1.4	31,244	31,420
内勤職員	(人)	10,955	▲ 0.4	▲ 0.7	11,001	11,032

※3月末比、9月末比は増減率

※住友生命の実績を掲載

⑫銀行窓販の状況(住友生命グループ)

			2016年9月期		16年3月期	15年9月期
				15/9期比		
変額年金+	新契約件数	(件)	87,672	135.9	97,047	37,168
定額年金	金額(収入保険料)	(百万円)	31,127	207.1	28,219	10,136

			2016年9月期		16年3月期	15年9月期
				15/9期比		
一時払終身	新契約件数	(件)	22,751	3.9	51,759	21,890
	金額(収入保険料)	(百万円)	171,371	32.4	313,770	129,432
一時払養老	新契約件数	(件)	-	-	-	-
	金額(収入保険料)	(百万円)	-	-	-	-

			2016年9月期		16年3月期	15年9月期
				15/9期比		
一時払+平準払	新契約件数	(件)	63,621	223.2	52,451	19,687
	金額(収入保険料)	(百万円)	18,418	244.9	15,327	5,339

※住友生命とメディケア生命の合算値

※15/9期比は増減率

※平準払商品の収入保険料は年換算保険料にて掲載

※一時払+平準払商品について、住友生命の商品は低解約返戻金型無配当終身保険、低解約返戻金型無配当介護保障終身保険、低解約返戻金型無配当特別終身保険、低解約返戻金型無配当定期保険

メディケア生命の商品は医療終身保険(無解約返戻金型)、限定告知型医療終身保険(無解約返戻金型)、一時払がん医療終身保険料率区分型収入保障保険(無解約返戻金型)

⑫「銀行窓販の状況」には証券代理店実績を含む

その他質問項目(2016年9月)

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金繰入・戻入等の状況

		2016年9月期	16年3月期	15年9月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金繰入・戻入等	(億円)	106	162	121

※戻入額については△で表示

※住友生命の実績を掲載